

写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　まが玉

よみがな　まがたま

時　代　縄文時代

大きさ　長さ約3cm



出土場所（しゅつどばしょ）　加須市（かぞし）　長竹遺跡（ながたけいせき）

解説（かいせつ）　昔（むかし）の日本で作られたアクセサリーのようなものです。

素材（そざい）は滑石（かっせき）というやわらかい石で作られています。

昔の人にとっては、①お守り②身分（みぶん）を表すもの③おしゃれといった特別（とくべつ）な意味（いみ）を持つ大切なものだと考えられています。

まが玉の形は、いくつかの説（せつ）があります。

①動物の牙（きば）のまね

②赤ちゃんの形

③太陽と月を表す

④魔（ま）よけの形

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書441集）

まが玉には素材（そざい）や大きさ、色の違いはあるのかな？調べてみましょう。